
第3回 昭島市総合基本計画審議会 第2部会

議事要旨

[日時] 平成22年4月21日(水) 19:00～21:00

[場所] 昭島市役所 3階 庁議室

[出席者]

1 委員

石崎忠司会長、平畑文興副会長、稲員とよの委員、岡田明恵委員、竹村茂己委員、
中野久史委員、長谷川祐司委員、福田晃委員、矢崎まゆみ委員
(欠席者) 川元英貴委員

2 事務局

日下企画部長、佐藤総合基本計画担当主幹、柳主査

3 コンサルタント会社

田中

[日程]

1 基本計画素案

第5章 基盤を築く あきしま(快適な都市空間の整備)について
安心と安らぎを築く(市街地の整備)

(1) 公共交通

(2) 市街地整備

(3) 住宅

(4) 都市景観

2 その他

[配布資料]

・第3回昭島市総合基本計画審議会第2部会日程

・資料1 第5章 基盤を築く あきしま(快適な都市空間の整備)

【議事要旨】

○議事録の確認

事前に送付した議事録について、各委員の了承を得た。

○事務局担当主査の変更

事務局より、平成 22 年 4 月人事異動に伴う担当主査の変更（別所主査から柳主査に交替）について説明があった。

1 基本計画素案

【説明】

【現状と課題】について、部会での意見を踏まえ、【現状】と【課題】を分けて記述したこと、見出しの表記（マーク）を修正した点について説明があった。

【質疑応答・意見】

（1）公共交通

（青梅線による南北分断）

■青梅線により南北が分断されており、移動が困難になっているので、その点をどうしていくのか。

【平畑副会長】

○昭島駅の東西や中神駅の東側など、都市計画道路の整備にあたっては立体交差化を進めている。今後の計画もあり、そういったことも解消されていくのではないかと考えている。【事務局】

（ユニバーサルデザイン）

■ユニバーサルデザインという言葉が何度かでてくるが、具体的にはどういうことをイメージすれば良いのか。【石崎会長】

○ユニバーサルデザインは、誰にでも優しいデザインということで、幼児や高齢者、障害がある方など、どのような人にも使いやすいもの、それがすべての人にとって良いデザインだろうという考え方である。交通の関係で言えば、低床型のバスやスロープによる段差の解消などが該当すると考える。【事務局】

■どこかにユニバーサルデザインについての説明が入れば良いのではないか。【石崎会長】

○用語解説に入れる予定である。【事務局】

（政策指標）

■政策指標で、「鉄道各駅の 1 日の乗降客数」を目標値にした場合は、市役所がこれだけ努力して増やすという意味に取られないか。予想値とすれば客観的なものになる。【石崎会長】

○この指標については、施策の実現により市の活性化などがはかられば、昭島の駅の利用者も増加するだろうという考えから、指標値としたものである。なお、基本計画の指標については、再度、全体的に審議していただきたいと考えている。【事務局】

■「安心とやすらぎを築く」で、ユニバーサルデザインは非常に重要なポイントであるが、政策指標の中でユニバーサルデザインに関係あるようなものが具体的に出てこない。「安心とやすらぎ」

という言葉に繋がるような、もう少し具体的な目標値が設定できないか【稲員委員】

- ご指摘のとおりユニバーサルデザインは重要なポイントであり、それを反映した指標値の設定については努力してみたが、結果としてなかなか難しかった。なお、先ほどもご説明したが、指標値については、全体の中で、再度審議する機会を設けたいと考えており、ご指摘の点も踏まえながらも一度検討させていただく。【事務局】

■駅前広場の整備についての指標値を見ると、10年後の目標が7分の6で、最後に残るのは西立川駅だとおもうが、これでは、今立てている計画の外にあると初めから言っているようにも感じる。市の東のはずれではあるが利用している市民はいるので、市としてはどのように考えているのか。【福田委員】

- これは駅の南北を含めた数で、7つになっているのは拝島の南側、昭島駅、中神駅、東中神駅の南北で、拝島駅の北口、西武立川駅と西立川駅はこのなかに入っていない。西立川駅については、当然立川市との協議は進めていくが、全体の状況から昭島市が主体的に取り組む事業として位置づけることは、なかなか困難であると考えている。なお、一つ残るのは中神駅の南側で、ここは都道であり、東京都が施工することになるが、これからの10年に着手するのは難しい状況にある。また、記載の仕方については、検討し、誤解が生じないようにしたい。【事務局】

(2) 市街地整備

(安心ややすらぎの反映)

- 昭島の市街地整備のなか、これからやろうとすることに安心ややすらぎを反映していく考えは分かるが、これ以外の現状あるものについての考え方も必要ではないか。【長谷川委員】
- 主要な市街地整備以外の一般的な整備や現状の都市基盤などについては、住宅や都市景観、上下水道等他の項目の中から読み取れるような形で考えている。【事務局】

(区画整理事業)

- 東中神駅北口を東京都が区画整理するという計画があった、現在どのようになっているのか。【平畑副会長】
- 地元の理解を得られなかったので東京都は手を引いたと聞いている。【事務局】

(昭和記念公園昭島口)

- 昭島口の方にも昭和記念公園出入り口があるがほとんど利用されていないようだ。開発時に、もう少し立派にして、立川に負けないような入り口にしてもらいたい。【平畑副会長】
- 計画が具体化し、駅を中心にリニューアルがはかられる中で、東中神駅から昭島口までの通路を公園の前庭というか、無料公園的に整備をして欲しいという考えを持っている。この要望については、今も働きかけをしているし、これからもそういう活動を引き続きやっていきたい。【事務局】
- 【課題】のところの「駅周辺は昭島を訪れた人が最初に『あきしま』を感じる場所」というのは正にそうだと思う。昭島らしさを表面に出すなら、昭島口のイチョウなど、落ち葉の季節には大変すばらしい、ドラマの一場面のようなイメージがある。こうしたところなどをもう少し売りにして市民の意識を盛り上げることも考えていいのではないか。【福田委員】

- ご指摘のようなイメージがそのまま駅から繋がっていくような整備をお願いしている。それが景観にも繋がり、昭島らしさに繋がっていく。そういったことが実現されるように計画に位置づけている。【事務局】
- 花火大会がある時の昭島口の賑わい方というのはものすごいものがある。皆さん自転車引いたり歩いて行ったりして大渋滞になっている。ということは昭島市民がそちらを利用しているという実際の例だと思うので、イメージアップを図れるようなことがあると、もっと効果的ではないか。【矢崎委員】
- まちづくりが動こうとしているなか、一つのチャンスと捉えて、国や都とも一緒になってやっていきたい。【事務局】

(駅前整備)

- 東中神駅の木製の長い椅子に座っていると非常に安らぎを感じる。近代的なプラスチックの椅子だと座り心地があまり良くなく落ち着かない。新しい駅舎に変えるのだろうが、ああいうものは残した方が良い。【平畑副会長】
- JRが効率的な運営を図っている部分もあるので、なかなか難しいところではあると思うが、機会をとらえ要請していきたい。【事務局】

(3) 住宅

(耐震化)

- 耐震化が満たされているものと、耐震化が必要だというランクが1、2、3とあるが、そのどの段階を言うのか。【石崎会長】
- 耐震化の基準が強化された以前の建物かその後の建物かということで判断している。【事務局】
- 震災が近いと言われている中で住宅密集地についての防災対応について、考え方を明らかにする必要はないか。【福田委員】
- 第1部会の担当になるが、防災のところでは住宅密集地への配慮については若干触れているが、住宅という面からは捉えていない。課題として抱えてはいる。区画整理など手法としてはあるが、広域的な対応は、現実として、現状ではなかなか難しい。【事務局】

(住環境)

- 23ページの「良好な住環境の整備」に「昭島の特性を生かし」とあるが、これはどういうイメージなのか。【竹村委員】
- 「昭島の特性」としては緑が多いということがあると考えている。緑と調和した住環境が整備されるように建築を誘導していければと考えている。【事務局】

(4) 都市景観

(民間建築物の誘導)

- 施策の体系の「うるおいのある景観づくり」のCのところ、「民間建築物の誘導」とあるが、これは「民間建築の誘導」ということではないのか。【石崎会長】
- Bの部分が公共施設なので、それを受けて民間の建築物という形になっている。どちらがいいのかは主管課とも調整するが、対比になっているということでお考えいただきたい。【事務局】

(景観の保全)

- 景観の保全の部分では具体的なものが捉えにくく、イメージしにくい。市民は、これをベースに次のステップに進みづらいのではないかと。【福田委員】
- 景観については、市民の協力なしでは成り立たないと考えている。昭島に現在ある歴史的背景や景観は、壊すと再生がなかなか難しい。市民意識の高揚に努め、そういったものを次の世代に引き継いでいきたい。【事務局】

(昭島らしいまち)

- 昭島らしいまちというのは昭島の北口の商店街だと思う。中央に綺麗な並木があって、その先には団地があり、商業施設が充実されている。これは青梅線沿線の中では一番であると思う。まだまだスペースもあるようだし、さらにウエイトを置いて発展させて行くというのも一つの方向ではないかと思う。【岡田委員】
- 都市施設や商業施設も景観の一つの大きな資産になる。コンクリートの中に程良い緑を配して景観をバランス良く作っていくまちづくりも大切であり、これからも求められていくことなので、そのような賑わいも一つの「あきしまらしさ」として守り育てる部分だと考えている。【事務局】

(4) 全体を通して

(道路の呼称)

- 道路の呼び方だが、都道何号線とか市道何号線、括弧して都市計画道路何号とかより、何々通りとか親しみある表現にした方が市民はわかりやすいのでは。【平畑副会長】
- 道路の呼び方については、後ろに括弧書きで都市計画道路番号を入れるように統一しているが、ご指摘の点を踏まえて、調整してみたい。【事務局】

(中神駅南口の整備)

- 中神駅の南口の駅前広場は都の関係で、昭島市だけではできないという形になっているが、何もできないというのをそのまま計画として続けていくのはどうなのか。【中野委員】
- 東京都が主体の事業になるので、昭島市としては継続的に調整をしながら着工をお願いしている。東京都としても優先順位があり、東京都の道路は都が整備をするということなので、私どもはなかなか手が掛けられないというジレンマもある。ここ10年の中では確かに最後に残るかもしれないが、その次は主要な課題の一つになってくると考えている。【事務局】

2 その他

今回は、5月19日開催予定。